

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
瑞鳥－丹頂鶴に就いて－	片岡新助	1952	1	1	1	3
動物長生きくらべ	古賀忠道	1952	1	1	1	5
魚の習性と漁業の話 (1)	桶作博之	1952	2	2	1	14
シマリスの冬眠	片岡新助	1952	2	2	1	14
魚の話 (2)	桶作博之	1952	3	3	1	21
魚の話 (3)	桶作博之	1952	4	4	1	29
虹鱒、雪裡川を上る	桜井基博	1952	6	6	1	42
魚の話 (4)－地理的分布について	桶作博之	1952	7	7	1	55
季節の魚 鯖とサンマ	桶作博之	1952	9	9	1	65
釧路原野の野鳥を訪ねて	片岡新助	1952	9	9	1	68
みんなんぜみ	片岡新助	1952	9	9	1	72
シマリスの研究	永田洋平	1952	10	10	1	75
天然記念物腰白海ツバメの話	片岡新助	1952	10	10	1	79
あしかとおとせ	古賀忠道	1952	11	11	1	81
海の動物とその食物	山本喜一郎	1952	12	12	1	89
阿寒湖のワカサギ	桶作博之	1952	12	12	1	92
シマリスの話 (その二)	永田洋平	1953	1	13	1	100
柳葉魚	桶作博之	1953	3	15	1	118
垂目革亀類 長亀 (オサガメ)	疋田豊治・片岡新助	1953	5	17	1	130
オサガメの剥製の思い出	若園隆義	1953	5	17	1	130
たつのおとしご	片岡新助	1953	5	17	1	134
釧路沖のサケ、マスの種類に就いて	桜井基博	1953	9	21	1	162
郷土に棲む鳥類 (其の一)	片岡新助	1953	9	21	1	166
郷土に棲む鳥類 (其の二)	片岡新助	1953	10	22	1	174
はんざき	片岡新助	1953	12	24	1	185
郷土に棲む鳥 (其の三)	片岡新助	1953	12	24	1	189
動物の仲間入り	永田洋平	1953	12	24	1	192
丹頂鶴のこども	片岡新助	1954	2	26	2	12
北国の魚～スケソとめぬけの産卵に就て～	三上正一	1954	3	27	2	20
かきの話	桶作博之	1954	7	31	2	54
根室より「犬鷲」来る	片岡新助	1954	9	33	2	72
釧路の魚市場に水揚げされる底曳魚について (其の一)	桜井基博	1954	12	36	2	89
釧路の魚市場に水揚げされる底曳魚について (其の二)	桜井基博	1955	2	38	2	105
釧路の魚市場に水揚げされる底曳魚について (其の三)	桜井基博	1955	3	39	2	115
釧路湿原に棲むタンチョウの研究 (1)	片岡新助	1955	5	41	2	130
牡蠣の話 (2)	桶作博之	1955	5	41	2	133
釧路湿原に棲むタンチョウの研究	片岡新助	1955	6	42	2	137
かきの話 (3)	桶作博之	1955	6	42	2	142
釧路湿原に棲むタンチョウの研究	片岡新助	1955	7	43	2	146
シシャモの発生について	羽賀茂子	1955	7	43	2	151
釧路湿原に棲むタンチョウの研究	片岡新助	1955	8	44	2	154
サンショウウオを調べる	永田栄	1955	8	44	2	156
鯨の話 (2)	瀬口群造	1955	9	45	2	162
魚の年令について	羽賀茂子	1956	4	52	3	30
青鷺の営巣探研	片岡新助	1956	6	54	3	42
屈斜路湖棲息の魚類変死についての観察	片岡新助	1956	9	57	3	66
春採湖のプランクトン (1)	西村賢司	1956	10	58	3	80
春採湖のプランクトン (2)	西村賢司	1956	11	59	3	85
春採湖のプランクトン (3)	西村賢司	1956	12	60	3	93
春採湖のプランクトン (4)	西村賢司	1957	1	61	3	103
春採湖のプランクトン (5)	西村賢司	1957	2	62	3	112
釧路地方に於ける水産増殖の現状	桶作博之	1957	6	66	3	138
シシャモ稚魚飼養に関する小実験	小黒千足	1957	12	72	3	186
丹頂鶴自然公園の建設によせて	大西康晴	1958	4	76	4	14
タンチョウの営巣	片岡新助	1958	7	79	4	28

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
厚岸湖のカキ島について	吉田三郎	1958	8	80	4	32
厚岸湾でガザミ補獲	小黒千足	1958	9	81	4	38
釧路で保護されたコアホドリ	大西康晴	1958	10	82	4	40
クマガラのこと	永田洋平	1959	8	92	4	112
千鳥の歌	永田洋平	1959	11	95	4	139
湿原に丹頂鶴を追って	岩松健夫	1960	1	97	4	156
釧路沿岸産貝類目録	横平弘	1960	2	98	4	161
オホーツク海岸産貝類目録	横平弘・青柳俊寿	1960	2	98	4	163
ナキウサギの話	外崎誠	1960	3	99	4	169
厚岸産等脚類	小黒千足	1960	3	99	4	173
丹頂ツル三態	岩松健夫	1960	4	100	4	179
丹頂鶴誕生	岩松健夫	1960	5	101	5	8
白鳥の舞	永田洋平	1960	6	102	5	9
和琴に営業したにゅうないすずめ	片岡新助	1960	7	103	5	24
見学記 - 主としてリクゼンイルカについて -	西脇昌治	1961	10	118	5	133
丹頂鶴自然公園日誌抄	高橋良治	1962	1	121	6	4
トドについて	桶作博之	1962	5	125	6	38
ネズミ残酷物語	吉田三郎	1963	11	142・143	6	164
春採湖に棲息する魚類解説	山代昭三	1964	5	149	7	39
北海道の貝	石川政治	1964	10	153	7	72
釧路郷土博物館所蔵のヘビ	正富宏之	1965	1	156	7	84
巳年と蛇	岡崎由夫	1965	1	156	7	86
釧路で獲れたハマフグ	阿部晃治	1965	3	157・158	7	91
ツルとクマ	清水竜太郎	1965	3	157・158	7	93
探鳥会	澤四郎	1965	7	160・161・162	7	121
サメの剥製を展示するまで	沖野留吉・阿部寅雄	1965	12	166・167	7	159
最近1年間（'64・9～'65・8）に釧路郷土博物館へ持ちこまれた鳥類	正富宏之	1966	3	168・169・170	8	1
タンチョウ覚書（1）雌雄について	正富宏之	1966	3	168・169・170	8	8
少女の手から餌をついばむ野生の丹頂鶴	中村美智夫	1966	10	177	8	41
釧路郷土博物館へ持ちこまれた鳥類Ⅱ（'65・9～'66・8）	正富宏之	1967	3	180・181・182	8	57
タンチョウ覚書（2）群れの形成と解体	正富宏之	1967	3	180・181・182	8	64
釧路郷土博物館へ持ちこまれた鳥類Ⅱ（'66・9～'67・8）	正富宏之	1967	10	189	8	101
釧路市立郷土博物館魚類標本解説	尾身東美・阿部晃治	1969	7	200	9	119
正体不明のツル撮影記	林田恒夫	1970	2	202	10	9
カナダツルと回答 - 山階鳥類研究所から -	宮田晴治	1970	3	203	10	24
カラス余聞	澤四郎	1970	3	203	10	24
エゾモモンガ	永田洋平	1970	5	204	10	25
ハイロウミツバメの新例	澤四郎	1970	5	204	10	28
塘路通信	越善武	1970	5	204	10	28
アトリ来る	澤四郎	1970	5	204	10	29
カラスを食べたフクロウ?	澤四郎	1970	5	204	10	34
役にたったネズミ	澤四郎	1970	5	204	10	34
トビと同居したカモメ	西幸隆	1970	5	204	10	34
オオハクチョウがにげた	佐々木ヤスエ	1970	5	204	10	34
釧路に移植されたソウギョ	山代昭三	1970	7	205	10	39
トドの胎児	山崎正二	1970	7	205	10	41
春採湖で魚の大量死	山代昭三・澤四郎	1970	7	205	10	41
春採湖のヒルムシビドラ	長尾善	1970	7	205	10	42
シマリス	澤四郎	1970	7	205	10	47
カラ-ヒヨコ	澤四郎	1970	7	205	10	47
エゾモモンガのこと	クラブ・アニマル	1970	9	206	10	54
エゾシカの肉食	西幸隆	1970	9	206	10	59
バカンベを食べた馬	豊原照司	1970	9	206	10	59
エゾアカゲラ来る!	山崎正二	1970	9	206	10	59
オオコハズク	林田恒夫	1970	11	207	10	62
アオダイショウ市街地に出没	澤四郎	1970	11	207	10	71

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
カナダヅル現れる！	佐々木ヤスエ	1970	11	207	10	71
タンチョウ	林田恒夫	1971	1	208	10	74
阿寒町官庁へやってきたクロヅル	林田恒夫	1971	1	208	10	75
下久著呂でオオコノハズク営巣	豊原照司	1971	1	208	10	83
クロヅル43年に目撃	澤四郎	1971	1	208	10	83
アトリの群れ	澤四郎	1971	5	210	10	98
ギンザンマシコ阿寒で目撃	澤四郎	1971	5	210	10	104
キレンジャクの大群	澤四郎	1971	5	210	10	104
クロヅル濤沸湖で発見	澤四郎	1971	5	210	10	104
市内でキタキツネと対面	桧森健二	1971	5	210	10	104
鶴ヶ岱公園の野鳥	橋本正雄	1971	5	210	10	104
クマガウ	辻田寿夫	1971	7	211	10	110
春採湖の野鳥	橋本正雄	1971	7	211	10	117
阿寒湖畔にクマガウ営巣	橋本正雄	1971	7	211	10	119
東釧路遺跡指定地の野鳥	橋本正雄	1971	7	211	10	119
庭先の野鳥	門脇勲	1971	7	211	10	119
塘路のタンチョウに思う	門脇勲	1971	7	211	10	119
ヒグマ	辻田寿夫	1971	9	212	10	122
春採湖のレンギョ	山代昭三・尾身東美・福野悠久	1971	9	212	10	123
高波後の釧路海岸	橋本正雄	1971	9	212	10	131
シマフクロウ死亡する	橋本正雄	1971	9	212	10	131
ハクセキレイにカッコウ托卵	橋本正雄	1971	9	212	10	131
ウミガラスのひな	橋本正雄	1971	9	212	10	131
オオヨシゴイ	橋本正雄	1971	9	212	10	131
ミズに思う	土井寿美子	1971	12	213	10	143
トビとカラス	橋本正雄	1971	12	213	10	143
タンチョウとクロヅル	林田恒夫	1972	1	214	11	2
鶴居村宮島崎踏査報告	澤四郎・橋本正雄	1972	1	214	11	8
フクロウの季節	橋本正雄	1972	1	214	11	11
冬の春採湖	橋本正雄	1972	1	214	11	11
トド	林田恒夫	1972	3	215	11	14
オオハム	橋本正雄	1972	5	216	11	25
ツル公園のクロヅル	橋本正雄	1972	5	216	11	34
アトリをみて	山本文男	1972	5	216	11	34
ジョウビタキ保護される	橋本正雄	1972	5	216	11	34
庭先の野鳥	野口孝二	1972	5	216	11	34
シマフクロウ	永田洋平	1972	7	217	11	36
主として北海道東部におけるシマフクロウの生態について	永田洋平	1972	7	217	11	37
博物館に持ち込まれた鳥類（昭和46年度）	橋本正雄	1972	7	217	11	43
もずのものまね	藤巻裕蔵	1972	7	217	11	45
野鳥の渡り	門脇勲	1972	7	217	11	45
ニホンイブナの子	橋本正雄	1972	7	217	11	45
春採湖にヒナ生息	澤四郎	1972	7	217	11	45
釧路湿原総合調査中間報告－シラルトロ沼－鳥	林田恒夫・橋本正雄	1972	9	218	11	56
釧路湿原総合調査中間報告－シラルトロ沼－魚	山代昭三	1972	9	218	11	58
キタサンショウウオ	橋本正雄	1972	11	219	11	66
タンチョウ	林田恒夫	1973	1	220	11	72
赤沼の魚類生息調査	山代昭三	1973	1	220	11	77
赤沼付近の鳥類センサス	林田恒夫・橋本正雄	1973	1	220	11	78
エトロフミスズメ	橋本正雄	1973	3	221	11	84
シロハヤブサ保護される	橋本正雄	1973	3	221	11	93
天然記念物オジロワシ保護される	橋本正雄	1973	3	221	11	93
四千羽のカラス	山崎正二	1973	3	221	11	93
草地に遊ぶエゾシカ	永田洋平	1973	5	222	11	96
カッコウの雑感	種田正一	1973	5	222	11	97
ケワタガモ保護される	橋本正雄	1973	5	222	11	105
地震で子ジカ誕生	橋本正雄	1973	7	223	11	117

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
釧路市内でツバメ孵化	種田正一	1973	9	224	11	122
アカウミガメ	橋本正雄	1973	9	224	11	129
ミツコビカモメ	橋本正雄	1973	11	225	11	132
宮島崎、キラコタン崎鳥類調査より	林田恒夫・橋本正雄	1973	11	225	11	141
火散布沼でみたアメリカコガモとコサギ	橋本正雄	1974	1	226	12	11
ソ連極東南部のツル	藤巻裕蔵	1974	5	228	12	30
産卵地で夜間観察 - キタサンショウウオ -	橋本正雄	1974	5	228	12	35
ソ連のシマフクロウ	藤巻裕蔵	1974	9	230	12	51
ヤマセミの話	橋本正雄	1974	9	230	12	59
釧路市古川終末処理場で見られた動植物	伊藤政和	1974	11	231	12	68
釧路市北斗におけるキタサンショウウオの繁殖について - 第2報 -	橋本正雄	1975	1	232	12	75
イトウの話	澤四郎	1975	3	233	12	95
根室地方のタンチョウ - その分布と非繁殖鳥の行動 -	井上雅子	1975	3	234	12	99
尻尾に尻尾が生えていた	橋本正雄	1975	7	235	12	119
ミツコビカモメ	橋本正雄	1975	11	236	12	122
ソ連極東南部のハクチョウ (1)	藤巻裕蔵	1975	11	236	12	123
オオセグロカモメ	橋本正雄	1976	1	237	12	134
オオセグロカモメの生活	橋本正雄・伊藤儀一	1976	1	237	12	135
ままならぬ翼	橋本正雄	1976	1	237	12	143
釧路湿原冬期調査 鳥獣・湧水について	橋本正雄	1976	3	238	12	148
ウミアイサ	杉山悟郎	1976	5	239	12	160
産卵を見る	橋本正雄	1976	5	239	12	169
丹頂の人工飼育について	桑嶋洋一	1976	9	240・241	12	180
コヨシキリ雑記	大西康晴	1976	9	240・241	12	182
ヒナの受難	橋本正雄	1976	9	240・241	12	193
ミヤマカケス	橋本正雄	1976	11	242	12	196
ソ連極東南部のハクチョウ (2)	藤巻裕蔵	1976	11	242	12	201
オオセグロカモメの生活 (2)	橋本正雄	1976	11	242	12	202
白鳥の歌	布施正	1977	3	244	13	14
ヨシゴイの部分的白化形	橋本正雄	1977	3	244	13	23
キタサンショウウオ - 新生息地の発見 -	橋本正雄	1977	7	246	13	47
分子生物学からの脱皮	神田房行	1977	7	246	13	38
春採湖の水鳥	橋本正雄	1977	9	247	13	54
釧路湿原踏査雑記	橋本正雄	1977	9	247	13	56
釧路湿原冬期調査 - 1977年2月16・17・18日の記録 魚類・鳥類	橋本正雄・新庄久志・村上肇・伊藤義一	1977	5	245	13	27
魚大脱走 ひょうたん池	橋本正雄	1977	9	247	13	59
標茶町から発見されたキタサンショウウオ	飯島一雄	1978	1	249	13	81
ハギマシコ	橋本正雄	1978	1	249	13	83
魚の話	橋本正雄	1978	3	250	13	95
パンクル沼魚類生息調査	山代昭三	1978	11	254	13	139
パンクル沼の鳥類 - 予報 -	林田恒夫・橋本正雄	1978	11	254	13	144
貝塚に眠る蝙蝠	林田恒夫	1979	1	255	14	11
尾岱沼のオオハクチョウ探鳥会	橋本正雄	1979	3	256	14	14
留真温泉探鳥会	橋本正雄	1979	7	258	14	38
根室半島総合調査中間報告 - 道東海岸線総合調査より - 厚岸・浜中・根室の湖沼調査 (鳥)	橋本正雄	1979	7	258	14	40
根室市長節沼の魚類調査	佐藤省紹	1979	9	259	14	50
道東海岸線総合調査 根室半島湖沼のプランクトン (1)	高山末吉	1979	11	260	14	69
父子とハクチョウ	橋本正雄	1980	1	261	14	83
根室半島総合調査中間報告 - 道東海岸線総合調査より - 長節沼のプランクトンと底生動物	高山末吉	1980	3	262	14	94
根室半島総合調査中間報告 - 道東海岸線総合調査より - 長節沼調査 - 鳥類	橋本正雄	1980	3	262	14	99
根室半島総合調査中間報告 - 道東海岸線総合調査より - 長節沼魚類生息調査	山代昭三	1980	3	262	14	101

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
ソ連極東南部のツル 2.タンチョウ	藤巻裕蔵	1980	5	263	14	110
復活した産卵地	橋本正雄	1980	7	264	14	127
南千島のヤマセミ	藤巻裕蔵	1980	11	266	14	143
タンチョウ	林田恒夫	1981	1	267	15	2
果敢なユリカモメ	橋本正雄	1981	1	267	15	11
ソ連極東の鳥1. オオワシ	藤巻裕蔵	1981	5	269	15	32
フナの受難	田中博修	1981	7	270	15	47
首輪をした鴨	橋本正雄	1981	9	271	15	59
餌台の鳥たち	橋本正雄	1982	1	273	15	83
人工ふ化で成長したイトウ	橋本正雄	1982	5	275	15	98
ソ連極東の鳥2. オジロワシ	藤巻裕蔵	1982	5	275	15	99
ハチの巣に巣を作ったスズメ	飯島一雄	1982	5	275	15	107
道東のザリガニ類について	蛭田真一・林浩之	1982	7	276	15	114
チゴハヤブサ	橋本正雄	1982	7	276	15	119
台風とフンボルトペンギン	橋本正雄	1982	9	277	15	131
幻のザリガニ料理	林浩之	1982	11	278	15	142
フルマカモメ	橋本正雄	1982	11	278	15	143
釧路湿原の土壌小形節足動物相特にササラダニ相について-1. 定量調査から-	西川寿輝・工藤宏明・蛭田真一	1983	3	280	16	15
ソ連極東の鳥3. クマゲラ、コアカゲラ、コゲラ、ミユビ	藤巻裕蔵	1983	5	281	16	27
南千島の鳥類の実際上の重要性	V・Aネチャエフ、訳藤巻裕蔵	1983	5	281	16	30
ハクセキレイの宿	橋本正雄	1983	5	281	16	35
釧路湿原の土壌小形節足動物相特にササラダニ相について-2. 異植生下の定性調査から-	西川寿輝・工藤宏明・蛭田真一	1983	7	282	16	39
ソ連極東南部の哺乳類1. ニホンジカ	S・Pクチェレンコ、訳藤巻裕蔵	1983	11	284	16	64
不思議な贈り物-オガワコマドリ-	橋本正雄	1983	11	284	16	71
釧路川中流域のチドリについて	二村一男	1984	3	286	16	93
ソ連極東南部の哺乳類2. モモンガ、シマリス	S・Pクチェレンコ、訳藤巻裕蔵	1984	5	287	16	99
京都大学北海道演習林におけるフクロウ、クマゲラならびにアメマスの摂食物について	二村一男	1984	5	287	16	101
春採湖探鳥	文：橋本正雄 写真：加藤春雄	1984	5	287	16	107
春採湖水鳥生息調査より	日本野鳥の会釧路支部	1984	11	289	16	128
春採湖の魚類調査	釧路市教育委員会	1984	11	289	16	130
アオサギのコロニー発見	橋本正雄	1984	11	289	16	131
釧路湿原のオショロコマ	針生勤	1984	11	289	16	131
胎生の魚ナガガジ	中田淳	1984	11	289	16	131
キタキツネ繁殖	澤四郎	1984	12	290	16	143
釧路湿原の土壌小形節足動物相特にササラダニ相について-低層湿原の定性調査から-	工藤宏明	1985	5	293	17	33
十勝川帯広市附近のヒラタゴミシ類	森田誠司	1985	5	293	17	35
ソ連極東南部の哺乳類3. ヒグマ(1)	S・Pクチェレンコ、訳藤巻裕蔵	1985	7	294	17	44
ニホンヤマコウモリの「ネグラ」発見	飯島一雄	1985	7	294	17	47
春採湖の水の華-ベン毛藻の異常増殖による湖水の変色現象-	神田房行	1985	9	295	17	57
広尾近海の家	林浩之	1985	11	296	17	63
ヒブナの倍数性について	山代昭三・鳥澤雅・針生勤	1985	11	296	17	68
イシガキフグ採集珍談	吉田英雄	1985	11	296	17	71
イバシバツ川水系の魚類調査	福原毅	1985	11	296	17	71
海産カジカの稚魚	針生勤	1985	11	296	17	71
ソ連極東南部の哺乳類3. ヒグマ(2)	S・Pクチェレンコ、訳藤巻裕蔵	1986	1	297	17	81
エソヒグマとエソシカのフィールドサイン	二村一男	1986	3	298	17	87

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
釧路湿原におけるキタサンショウウオの産卵とその行動	中林成広・植田健仁・佐藤孝則	1986	5	299	17	99
停電の犯人	橋本正雄	1986	5	299	17	107
春採湖のヒナ生息調査	山代昭三・針生勤	1985	3	292	17	21
ヒナの体色変化	針生勤・山代昭三	1985	11	296	17	65
春採湖のフナについて	針生勤・山代昭三	1985	11	296	17	70
ソ連極東南部の哺乳類3.ヒグマ(3)	S.P.クチエレンコ、訳藤巻裕蔵	1986	9	301	17	137
春採湖のフナの海水耐性試験	角田富男・針生勤	1987	1	303	18	7
ソ連極東南部の哺乳類4 オコジョ・イブナ	S.P.クチエレンコ、訳藤巻裕蔵	1987	1	303	18	10
ソ連極東南部の哺乳類5.リス	S.P.クチエレンコ、訳藤巻裕蔵	1987	5	305	18	33
春採湖に生息するヒナとフナの遺伝的差異	小林時正・針生勤	1988	5	311	18	103
阿寒湖とその周辺の野鳥	橋本正雄	1988	7	312	18	111
釧路湿原のアオサギ・コロニー	橋本正雄・加藤春雄・富岡辰先	1988	7	312	18	117
釧路の鮭漁について	渡辺栄二	1988	9	313	18	123
キタサンショウウオの消化管内容物	蛭田眞一・佐藤弘幸	1988	9	313	18	127
大雪山で採集された真正クモ目(1)	生方秀紀	1988	9	313	18	129
大雪山の多足類とザトウムシ類 - 1984年7月の採集記録 -	生方秀紀	1989	1	315	19	3
釧路市春採公園のクモ相とコガネグモ科2種の季節消長	細野恵	1989	1	315	19	5
昭和63年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための予備調査結果 春採湖のヒナ生息調査について	山代昭三・針生勤	1989	7	318	19	45
鮭漁の終焉	渡辺栄二	1989	11	320	19	63
キタサンショウウオの消化管内容物 - 第2報 -	中村道代・土子博一・蛭田眞一	1989	11	320	19	69
春採湖のフナの消化管内容物 - 特にユスリカについて -	伊藤政和	1990	1	321	19	80
釧路市桂恋漁港に出現した仔稚魚について	泉親志・針生勤・蛭田眞一	1990	3	322	19	86
昭和63年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための予備調査結果 春採湖の動物プランクトンの季節的消長について	穴田治樹・室田博之・蛭田眞一	1990	3	322	19	91
平成元年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果 春採湖のヒナ生息調査結果について	山代昭三・針生勤	1990	7	324	19	113
釧路市におけるハシボソガラスの繁殖生態	井出英次	1990	7	324	19	115
釧路市中心部の飲食店街におけるカラスの採餌生	井出英次	1990	9	325	19	125
屋上で繁殖したオオセグロカモメ	橋本正雄	1990	9	325	19	130
ソ連極東南部の哺乳類6.アナグマ・カワウソ	S.P.クチエレンコ、訳藤巻裕蔵	1990	11	326	19	135
秋期塘におけるカラスの社会関係	井出英次	1991	1	327	20	3
ソ連極東南部の哺乳類7.イノシシ	S.P.クチエレンコ、訳藤巻裕蔵	1991	7	330	20	42
平成2年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果 春採湖のヒナ生息調査結果について	山代昭三・針生勤	1991	9	331	20	51
平成2年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果 春採湖の動物プランクトン	蛭田眞一・松館俊則	1991	9	331	20	53
平成3年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果 春採湖のフナの消化管内容物調査 - 特にユスリカについて -	蛭田眞一・伊藤政和	1992	5	335	20	105

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
平成3年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果 春採湖のフナの産卵域分布調査およびヒナ生息調査	山代昭三・針生勤	1992	9	337	20	128
平成4年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果(2) 春採湖のフナの消化管内容物について	蛭田眞一・伊藤政和	1993	6	341	21	34
平成4年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果(4) 春採湖のフナの産卵域分布調査及びヒナ生息調査	山代昭三・針生勤	1993	9	342	21	44
ロシア極東南部の哺乳類8.クロテン	S.P.クチレンコ、訳藤巻裕蔵	1993	12	343	21	51
釧路川支流にてオシロコマを釣獲	渡邊博胤	1994	3	344	21	68
国後島におけるキタサンショウウオの繁殖	A.G.Trubeg 訳：藤巻裕蔵	1994	3	344	21	69
平成5年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果(2) 春採湖のフナの産卵域分布及びヒナ生息調査	山代昭三	1994	9	346	21	87
平成5年度春採湖畔及び周辺の環境保全実施のための継続調査結果(3) 1992～1993年春採湖水鳥調査結果報告	前田紀子・福士汎一	1995	3	348	21	118
ロシア極東南部の哺乳類9.ヤマネコ	S.P.クチレンコ、訳藤巻裕蔵	1995	7	350	22	21
チャランクチャン-パラグアイの野生動物保護-ヒナ生息調査の結果について	針生勤	1995	7	350	22	23
	針生勤	1996	1	352	22	45
ロシア極東南部の哺乳類10.ツキノワグマ	S.P.クチレンコ、訳藤巻裕蔵	1996	4	353	22	55
阿寒川水系総合調査8.動物プランクトン	蛭田眞一	1997	1	356	22	87
阿寒川水系総合調査9.魚類	針生勤	1997	4	357	22	99
阿寒川水系総合調査10.動物	橋本正雄	1997	8	358	22	111
ロシア極東南部の哺乳類11.オオカミ	S.P.クチレンコ、訳藤巻裕蔵	1998	1	360	22	139
エゾシカの冬の暮らし-野生動物との共存を考える	宇野裕之	1998	5	361	23	6
ニホンザリガコを希少種にしないために	蛭田眞一	1998	5	361	23	8
ウチダザリガコは在来種を捕食する	川井唯史・若菜勇	1998	10	363	23	3
ロシア極東南部の哺乳類12.オオヤマネコ	S.P.クチレンコ、訳藤巻裕蔵	1999	5	365	23	3
親の伝承	飯島一雄	1999	5	365	23	7
釧路市立博物館収蔵の希少動物剥製標本	橋本正雄	1999	5	365	23	8
北太平洋の生態系とさけ・ます類	石田行正	1999	8	366	23	3
春採湖におけるヒナ・フナの産卵場所について	針生勤・山代昭三	1999	8	366	23	8
釧路市立博物館友の会講演会 ヒマラヤを越えるアネハツルとオグロツル	林田恒夫	2000	2	368	23	3
ロシア極東の哺乳類13.キツネ	S.P.クチレンコ、訳藤巻裕蔵	2000	5	369	23	7
自宅でできる土壌動物の観察	土屋慶丞	2000	8	370	23	9
アオサギコロニ-実態調査報告	沢田正雄	2000	11	371	23	8
温根内川における魚類の生態 第1報-魚類相・群衆構成及び魚類各種の微環境選好性-	黄川田泰幸	2001	5	373	24	3
ロシア極東の哺乳類14.たぬき	S.P.クチレンコ、訳藤巻裕蔵	2001	5	373	24	7
釧路市白樺地区周辺の植物・動物について(3)	伊藤政和・三村節子	2001	9	374	24	3
温根内川における魚類の生態 第2報-トミヨ類2種の個体数及び体長の季節変化	黄川田泰幸	2001	11	375	24	8
野鳥雑感	橋本正雄	2002	6	377	24	8
平成14年度春採湖におけるヒナ・フナの産卵調査の結果について	針生勤・山代昭三	2002	9	378	24	8
エゾシカの数減っているのか?-道東地域のエゾシカ個体群の動向-	宇野裕之	2003	11	383	24	3

題目	氏名	年	月	号	合本巻数	合本頁数
バンディング調査への思い	永澤広治	2003	11	383	24	7
釧路町動物目録	磯清志	2004	3	384	24	3
最近のヒブナ・フナの産卵状況について	針生勤・山代昭三	2004	8	386		8
釧路地方の動物目録	橋本正雄	2005	8	390		8
春採湖におけるヒブナ・フナの産卵環境の悪化について－特に水草の減少の観点から－	針生勤	2005	11	391		8
釧路川水系の一支流で観察されたイトウの産卵床の規模と産卵数について	針生勤	2006	12	395		8
釧路市におけるミヤマガラスの観察	芹澤裕二	2007	6	397		8
釧路市に生息するコウモリ類	芹澤裕二	2007	11	398		3
フィールドの思い出	橋本正雄	2008	3	399		8
北海道の淡水魚～注目されていることとされていないこと～	桑原禎知	2011	3	407		3
北海道釧路地方におけるニホンサギコウモリ <i>Plecotus sacrimontis</i> の食性	酒井淳一	2011	3	407		9
博物館講演会「私設自然保護区と環境教育」	松本文雄編	2011	9	408		3
キナシバツ湿原を愛する会について	松本文雄編	2011	9	408		5
ウチダザリガニに感染している病原体がニホンザリガニの生存に与える影響	一條信明・吉田薫・神田郁也・小原正裕・関川貴也・廣田遼一郎	2011	9	408		8
タンチョウに襲いかかるヒグマの初記録	深津恵太	2014	9	414		9
企画展「『くしろ』のいきもの」	加藤ゆき恵・貞國利夫	2015	3	415		3
どう守る？地域の宝、キタサンショウウオ	野本和宏（編）	2015	9	416		
トピック 釧路市知人浜にジャチ幼体が漂着	貞國利夫	2016	3	417		
釧路市立博物館80周年記念企画展「知られざる釧路湿原」	貞國利夫編	2016	9	418		
企画展「カモにも事情がありまして...～餌から恋の三角関係まで～」	貞國利夫	2018	3	421		
釧路湿原のイトウ復活に向けて	野本和宏	2020	9	426		
2023年に向けた釧路湿原の鳥類調査について	貞國利夫	2020	9	426		
キタサンショウウオの現状と課題、保護に向けた取り組み	野本和宏	2021	9	428		
釧路湿原の鳥しらべ隊！	貞國利夫	2021	9	428		
はたして「湿原の忍者」は浸透したのか？	貞國利夫	2022	3	429		
シンポジウム「キタさんトーク～発見！氷河期の小さなサバイバー」～どのようにキタサンショウウオや湿原を保護すればよいのか？～	野本和宏編	2022	9	430		
釧路湿原南部地域におけるオオジシギの生息状況について	黒澤信道・貞國利夫	2024	3	433		
2022年から23年にかけて春採湖周辺で確認したガラスの異常死－デジカメ画像記録からの検証	樋田宏三郎・黒澤信道	2024	3	433		